

公益社団法人 玉川法人会 広報誌

tamagawa 公論

2015.2 Vol.44

たまでんBOARD 第262号 合併号



特 集

新春対談・税を考える週間

特集

新春対談

税を考える週間

納税表彰式

絵はがきコンクール

記念講演会での挨拶

記念講演会での挨拶

記念講演 弁護士菊地幸夫「私達の暮らしと法律」を聞いて

我が社の省エネ、我が家の省エネ

わが社の省エネ

我が家の省エネ

私と省エネ

私の省エネ

「♪エコライフ エコライフ♪」 by Parody Gang

(郷ひろみdebut single「男の子女の子」parody)

我が家・我が社の省エネ

我が家の省エネ対策

わが社の提案

エコ社会はものを大切に

目指せゼロエネ住宅

環境問題のウソ

我が家の省エネ

ある企業の取り組み

我が社、我が家の節電

我が家、我が社の省エネ対策

事務局の省エネ作戦

たまでんBOARD「262号」

改正相続税法研修会 第1弾 直前編

平成26年度福利厚生制度連絡協議会並びに会員増強中間報告会 (TAMAGAWA 絆 PROJECT)

ワイン同好会 第27回例会

新入会員のご紹介

ホームページのご案内



特集 新春対談



新年を迎え、玉川法人会阿部会長と玉川税務署高藤署長に今年の抱負、方針を中心に対談を行っていただきました。今回の司会は女性で初めて江口広報委員が行いました。世田谷の印象をはじめ様々な話題がでて、なごやかな雰囲気の中、長時間にわたり語られました。ここにその要旨を掲載いたします。

今年の抱負について

江口委員 新年明けましておめでとうございます。

高藤署長 おめでとうございます。

阿部会長 おめでとうございます。

江口委員 まず初めに新年のお言葉をお願いいたします。

高藤署長 今年は10月からマイナンバーの番号交付、来年の1月からはその利用が始まりますので、多分大きく税務行政も変わる時期なのかなと思っております。そういう意味では変化に対応できるような柔軟な組織に行きたいと思っております。

阿部会長 昨年は、衆議院も解散され、アベノミクスの3本の矢の最後の成長戦略ですか、これが今年は何とかうまくいって、会員の皆様方に少しでも景気の回復が実感できるようになっていただければ幸いかと思っております。

世田谷の魅力について

江口委員 それではさっそく、対談に入らせていただきます。まず最初に、世田谷の魅力について伺いしたいと思います。

高藤署長 私はここに来る前は国

税局にいましたが、平成4年に世田谷税務署、平成15年に北沢税務署、そして昨年に玉川税務署ということで、世田谷の3署全部に勤務させていただきました。そういう事で世田谷には非常に縁があるなと思っております。世田谷の印象は曲がりくねった道や細い路地があり自然の感じが出ていて、そういう所がいいですね。あとは公園もたくさんありますし、到るところに緑があつて、まだ農地もありますので、世田谷は住みやすい街ではないかと思っております。

江口委員 全て世田谷の管轄署を回られたということ、特にこちらの玉川税務署にいらつしやうて世田谷の他の署との違いとかございますか。

高藤署長 玉川税務署は、北沢や世田谷税務署とは一寸違うという感じがしております。法人が基本的に小規模ですが、

すごく独創性のある会社が多いのかなという印象です。法人会の皆様の日頃の活動もそういう所に生きていくのかなと思っております。

江口委員 阿部会長いま高藤署長のお話を受けて、是非お話を

阿部会長 私は生まれも育ちも二



高藤税務署長(左) 阿部会長(中央) 司会の江口広報委員(右)

子玉川で、この多摩川で遊びながら育ったので、本当にここには愛着を感じています。今は本社が三軒茶屋に移ってしまいました。もともとこの辺は農地が多く、高島屋のあたりは全部が田んぼでした。ですからそれが開発されて発展し、さらに田園都市線ができるようになって非常に開けました。今では昔の玉川とはだいぶ違った形になりました。しかし、どこの区よりも緑が多くて、そういう面では私もいい場所に生まれ育ったなと思います。

二子玉川駅周辺の再開発について

江口委員 ちょうど今、阿部会長からも二子玉川が、ずいぶん様子が変わって発展してきているというお話がありました。駅周辺も再開発が進んでおります。そのことにつきまして署長からも一言お願いします。

高藤署長 実は、平成11年に国税局にいたころ、玉川税務署に来たことがありましたが、昨年の7月に着任した時に駅から税務署への道がわからなくなつて、何とか表示をみながらこちらにたどり着きました。駅から非常に近いんですけども、ライズ側が大きく変わっ

てしまい大変驚きました。今後はおそらく高島屋さんの側が商業地域で、こちら側がオフィス地域として発展していくのかなと思っております。今年はおフィスビルが完成し、8月くらいに楽天さんが本社を移転されてくるので、大きく人の流れが変わるでしょう。1万2千人くらい従業員の方がおられると伺っておりますので、こちらの側にも飲食店などが増えるのかなと思っております。あと地価も世田谷区で一番高いのが246号線沿いのライズの前のところなんです。そういう意味でも今後益々発展すると思っております。

江口委員 法人会としてはこの再開発について一つ思うところがありなのではないのでしょうか。**阿部会長** この再開発により多くの企業がこの中に移転してくる事が予想されます。

そういう企業の皆さん方に私どもの法人会を理解いただき共に活動していただくと、こういう形になつていただければ一番嬉しいなと思っております。

税務署の未来像について

江口委員 二子玉川が発展して益々大きな会社が増えて、それに伴

い小さな会社も充実してくるということなんですけど、そのあたりで税務署の未来なんですけど、それも玉川税務署だけではなく全体的な未来像について高藤署長にかお考えがございませうか。

高藤署長 基本的には、財政赤字がこんなに大きいので、まず歳出削減に取り組んでいく必要があると思います。税務署としても費用対効果ではないですけど、やはり効率性を求めていく必要があると思っております。現在イータックスの普及とか、定着を押し進めていきますが、これも行政費用の削減に寄与しています。今後は、いかに少ない事務量で大きな効果を上げることというのが、将来的に目指していく税務署の未来なのかなと、個人的には思っております。

江口委員 署長からいまイータックスのお話ができましたけれど、阿部会長からも今年の取り組みなどお聞かせ願えればと思うんですが。**阿部会長** イータックス導入からもう10年くらいですか、当初の目標が80%くらいだったと思います。本当にそんなに利用者がいるのかなと思いましたが、蓋を開けてみると意外と早く50%を超えました。これらのニーズをいかに有効に活用していくかというのを考えていく必要があります。そういう意



味でも法人会の役員の皆さんには何らかの形で、そのイータックスをご利用くださいと、2年前から100%利用宣言というのを出しました。まだ一部利用されていない方がおられますが、これを何とか100%にしたいと考えております。また利便性や税務行政の円滑な運営のためにも、この制度を広く普及させていく運動を、もっともつとやっつけていかなければという感じがいたします。しかし、利用者もかなり増えてまいりましたので、これから先はかなり利用率の増加も難しいかと思われま

が、このような便利なシステムをご利用いただき、良かったなと皆様に喜んでいただければ幸いです。

女性の進出について

江口委員 前任の太田署長は女性でいらっしやっただんですが、職員の方々を見ましても随分女性の方が多くなったようにお見受けいたします。そこで、女性の社会での活躍というのがこの頃の流れになつてきているようですので、玉川税務署、あるいは国税庁で女性の活躍という事についてお聞かせください。

高藤署長 女性の管理者や職員を増やすのは正に国を挙げての目標になつていきます。いまだいたい全国税務署で女性の職員の割合は約2割弱ですが、玉川税務署は意外と高く34%くらい女性職員がいます。いま新規採用で30%くらいが女性です。このまま続けていけば、近い将来には全国的に3割程度が女性職員になると予想されます。ただし、その後の出産とか、子育てなどで一番仕事の上で重要なときに少し職場を離れなければいけないということになつてきますので、今後の課題として



は出産とか育児が終わられた方が、引き続き意欲を持って仕事に従事していただけるとともに、自信を持つて管理職についていただけるように、環境整備等に一生懸命取り組んでいるところです。

江口委員 すばらしいですね。阿部会長からも是非女性の職場進出について法人会としてもメッセージがありますでしょうか。

阿部会長 我社の場合でみると最近、本当に優秀な女性の社員がたくさん入社しております。私どもは建設資材の卸売業で、男性社会

の仕事ですが、女性の社員も男性と同じように働けるようにしたいと考えております。もう一方ではいま署長がおっしゃったとおり、入社され仕事ができるようになって、子供が生まれ、子育て等の問題で長期休暇を取られる、その休んだあとの復帰の問題があります。その間に仕事で、色んな形で変わっていきますので、同じ場所に戻すということがなかなか難しくなります。ですから女性の場合は、そういうことを戦略的に考えながら、どう働いてもらうかを企業側が考えていかないとうまくいかないのかなと思つています。

公益事業について

江口委員 こんどは税務に協力いたします公益事業ですね、法人会としてどのようなことを予定しているのか、また今後どのような取り組みを考えているのか、そのあたりのお話をいただけますでしょうか。

阿部会長 さきほど言いました女性の進出という問題がありますが、法人会も女性の理事がすごく多くなつてきているんですね。色んな部分で変化が出てきている。社会貢献活動もやはり変化してきてい

ます。ただし、そういう中で私は日頃から私どもの団体は税を中心とした社会奉仕活動の団体ですと言つてきています。公益社団法人になりますと色んなお役所や団体から、様々な協力要請が出てきます。

しかし、そういう団体はそれぞれの事業をやっています。ですから私ども、やはり税に絡むような社会奉仕事業をなるべく多くして欲しい。あくまでもこの団体は、やはり税を中心とした社会貢献活動の中で、世の中に認めていただけるよう組織作りを目指していくべきだと思つています。

江口委員 公益事業の一つの事業として、高藤署長には社会貢献活動で献血などもご協力いただきましてありがとうございます。いかがでしたでしょうか。

高藤署長 お陰様で20名程度の職員に献血に協力してもらいました。もちろん副署長も二人共献血をしました。社会貢献活動としての献血というのは非常に良いことと思つております。中には税を考えると週間の時の献血活動を知つてらっしやつて、毎年この時に併せて献血に来られる方もいると伺いました。また、絵はがきコンクールも地域に貢献する活動として非常に良いことと思つております。

署としては直接的な地域貢献はむしろかしいですので、法人会から、税金の知識の普及なども含めて社会貢献していただければ、それが一番ありがたいかなと思っております。

江口委員 絵はがきコンクールのお話ができましたけれども、絵はがきコンクールは玉川税務署の管轄の小学校を中心に作品がずいぶん集まってきておりまして、全国大会にも出場できるくらいレベルの高い作品を集めることができるようになってきました。いかがでしょう、そのあたりの子供たちへのメッセージなど。

高藤署長 昨年納税表彰式に出席して、絵はがきを描いたお子さんたちの顔を見させていただいたんですけれど、皆さん非常にこやかに喜んでいただいて、よかったなあと思っております。世田谷産業フェスタのところでも、北沢法人会と世田谷法人会の絵はがきも展示してあったんです。玉川法人会はまだ表彰前だということで、去年の絵はがきが展示してありましたが、玉川の方が非常に出来が良く、副署長と一緒に「玉川の方がうまいね」と話をして帰ってきました。本当に皆さん真剣に考えて、アイデアも詰まっています、単なる絵が上手だけではなくて素晴らしい

い作品が多いと感じました。全作品700程の中から選ばせていただいたんですが、本当に玉川地区の小学生の皆さんのレベルは高いと思っております。

阿部会長 私もそういう意味では絵はがきコンクールは良かったと思います。絵を描くのはかなり税の勉強をしないと描けませんので、おそらく家族の皆さんと相談しながら描かれていると思います。そういう意味でも家庭の中に一つのいいテーマを作ってくれたという感じがします。

世田谷区の教育長や、学校側の支援協力があったからこそ出来たんだと思います。皆さん方には感謝申し上げますと思います。

会員増強について

江口委員 会員増強ということで先ほどお話も出ましたけれど、阿部会長に会員増強ということにつきましては、どのような取り組みをしていくのかお聞かせください。
阿部会長 税の関係のいろいろな事業をやる上で会員が減っていくというのは、それだけ効果が薄くなってしまいうわけです。やはりひとりでも多くの皆さんに参画してもらって様々な活動をしてもらう



というのが理想です。バブルの崩壊以降、会員数が下がりはじめたので来ておりますので、何とか歯止めをかけなければいけないと思っています。実は全法連でも、どうやって会員を増やしていくかという取り組みが始まりました。一番のポイントは会の運営にお金がかかるということ、財政基盤の強化をしようという取り組みました。その結果、大型保証制度をはじめとする事務手数料の収入が、16年ぶりに全法連でもプラスになり、各単会への補助金も少し増やす事ができました。それをさらに3年間で10億円増やそうということ、

この事業を積極的に進めています。それが成功しますと、おそらく単位会に150万から200万くらいの事業費が助成金として配布されると思います。この助成金で法人会の事業内容の充実、会員増強、あるいは事務局の強化などに有効活用したければと思っております。私どもの玉川法人会は「絆プロジェクト」を立ち上げ、福利厚生と会員増強と一緒にやっております。これが東法連でも取りあげられ、他の会にもこれを普及させていこうと今検討されているというお話しを伺っております。

江口委員 そうして色んなことが実現してきますとまた会員増強に対しては明るい未来ができてきますね。

阿部会長 そうですね。これは景気の影響もあると思いますが、皆さんに少しでもお声をかけていただき、仲間を増やすということをやっていたら、私は会員数が増えていくのではないかと思います。

江口委員 法人会に入ろうと迷われている方や新しく起業された方などに一言メッセージなどを先輩の経営者としてお言葉をいただけますでしょうか。

阿部会長 この会員増強については、実は税務署側からも色んな形

でご支援いただいております。

特に新設法人説明会には法人の統括官に出席していただき、法人会のPRをしっかりとさせていただいています。また、国税局の税務大学校の方でも法人会というのはいくつかの活動を去年から行っていますよという話を去年から行っていました。この部分では署側でも理解が深まっているように感じます。私どもとしても先ほど言いましたように、一人でも多くの仲間に入っていたら活動していくという観点で、これはあくまでも役員だけではなく会員の皆様にもご協力いただかないと、会員増強運動というのは浸透していかないのかなあとと思います。

江口委員 税務署の方でも大きな協力をくださっているということで署長からも励ましのお言葉をお願いいたします。

高藤署長 税務署としては、直接お金が出せないもんですから、出来る限りの人と知恵は出したかったと思っています。そういう意味で、研修会や説明会の時には、税務署職員が直接会員の方なり、会員になられるような法人の方にご説明をして、法人会のPRも含めて、適正な申告と納税は非常に重要だということをお話していきたいと

思っています。遠慮なくご要望いただければ各種説明会、研修会等に講師等派遣させていただきます。また、優良な法人はどんどん表彰していく、そしてそういう会社には税務調査にいかなくてもいいよという制度が必要かなと思っております。是非法人会に入ってもらい、適正な申告と納税を意識していただければ、そういうメリットもあるというふうになればいいなと思っております。今後は、法人会で取り組んでいらっしゃるセルフチェックや税理士等の書面添付をしっかりと行っている会社には、「ここは、しっかりとしているから調査に行かなくてもいいじゃないか」というような形になっていくことが、国税庁が考えている法人に対する方向性だと思います。

江口委員 どうもありがとうございます。大変具体的でわかりやすいご説明でした。

休日の過ごし方

江口委員 それでは今度は休日の過ごし方ですが、いかがでございますでしょうか。

高藤署長 いま上野に住んでいますが、浅草とか上野公園などが近いです。ウォーキングが街中をぶらぶらしています。浅草あたりだと色んなお店があるので目星をつけたところに行ってみて買い物や食事をするとか、そんな感じですね。

江口委員 阿部会長はいかがですか。

阿部会長 私は天気の良い日曜日にはゴルフに行きますね、あとは自分の趣味としては絵画の鑑賞や美術品を収集するのが好きですからこれらの為に外出します。

江口委員 今度はいちばんしてみたいことですか、いまこの瞬間してみたいことはございますか。

高藤署長 仕事を一ヶ月くらい休んで四国のお遍路に行きたい。

(笑) なんかお遍路に急に行きたくなりまして、歳かもしれませんが、ただし、一ヶ月も会社を休ませてくれないと思うんです。(笑) たぶんダメなので退職してからにしましょう。

阿部会長 私は膠原病という難病を抱えています。何とかいい薬がでて元気になればと願っています。

病気を持っていると、病気に負けて寝るだけになってしまいます。ですので、なるべく寝ないようにはしようと思がけています。一つの生きがいにつながっているのかなという感じもしますね。ゴルフはまだまだ上達したいという意欲がありますし、スポーツカーにも乗ってみたいという夢もあります。これらがあるうちはまだ、もう少し神様が生かしてくれているのかなというふうな感じがします。(笑)

江口委員 会員の皆様には非常に励ましとなる内容だと思います。

今年の課題

江口委員 それでは最後になりますが、今年の課題についての質問をさせていただきます。今年一番にやるべきこと、やりたいこと、



事業方針などについて簡単にお話いただけますでしょうか。

高藤署長 当面の課題としては、3月の確定申告をどうやってスリム化するかですね。今までですと税務署の前にプレハブを建てて来署者の方に、申告書を作ってもらって提出してもらったんですけど、やはり経費削減ということでは、やはりプレハブをやめて、渋谷駅の近くに合同の署外会場を設けて、対応することとなりました。いかに効率性を上げて従来より事務量をかけないで、新たに目黒署を加えた5署分の来場者の方をスムーズに誘導していくかといったところが課題と思っています。4月以降になりますと、また税務署本来の仕事である調査や滞納整理の時期に入っていきます。消費税の滞納を増やさないと国際化及び富裕層への対応に力を入れていく必要があると思っています。

阿部会長 先ほど言いましたように、どの法人会も財政基盤がとも弱くなっています。その為に3年10億円という目標を皆さん方のお力を借りながらなんとか達成をしたい、それと同時に少しでも会員を増加させていきたいというのが大きな目標の一つです。もう一つは、今日の税制は、徴収できるところから徴収する、そういう

形で永い間進んできたので非常に歪んでいます。消費税の引き上げ時に不公平な税制を直してもらおう働きかけができるようになればいいなと思っております。

それと私は社会貢献をする前に、まず自社の業績を良くして欲しいと思っております。たまたま全国の法人会の役員の人たちの黒字率というのを調べましたら66%程だそうですね。一般の中小企業ですと、だいたい黒字は25%くらいしかないで、66%というのはすごい数字だなと、本当に頑張っていたという人たちが選ばれている団体なんだなという意識をもって、公益社団法人玉川法人会の中で誇りをもって活動できる形に是非してもらいたいということが私の願いの一つです。

江口委員 もっとお話を伺いしようにと質問項目を用意してきましたが、お時間になりました。

本年一年間、署長様・会長様には健康に留意していただき、署及び法人会をさらに力強く牽引してください。お祈り申し上げます。対談を終えさせていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。

広報委員会 船本 貴一

松山ひとし



平成26年度 税を考える週間



納税表彰式

第3回 絵はがきコンクール

特別記念講演 弁護士 菊地幸夫 氏

平成26年度 納税表彰式

玉川税務署主催の平成26年度、納税表彰式が、昨年11月12日午後3時半より原宿の「東郷記念会館」で挙行されました。

ご来賓として世田谷区長、世田谷都税事務所長、玉川消防署長、玉川警察署長、玉川税務懇話会会長、阿部玉川法人会会長ほか、地域納税諸団体や友誼団体の会長、並びに理事長の方がお見えになり、玉川法人会からも常任理事や理事の方も多数出席されました。

国歌斉唱の後、来賓挨拶、高藤玉川税務署長の挨拶とともに、長年にわたり、平素より「申告納税



受賞者を囲んで

制度」の普及発展に努め、納税意識の高揚に寄与し、また税務行政の運営に貢献したとして「玉川税務署長表彰状」や記念品の贈呈が行われ、続いて「玉川税務署長の感謝状」が高藤署長より授与されました。このたび我が玉川法人会より以下の2名の方々が受賞されました。

「玉川税務署長表彰状」

常任理事 兼子成昭さん



「玉川税務署長の感謝状」

常任理事 中村匡秀さん



受賞者の皆様、本当におめでとうございます。今後とも税務行政並びに納税活動の高揚に益々ご尽力賜りますようお願いいたします。

第3回 絵はがきコンクール

表彰式に続き、高藤税務署長、世田谷都税事務所長などの方々により、玉川地域内の小学生の「税に関する絵はがきコンクール」金賞の表彰と作品の披露が行われました。



納税表彰式で金賞受賞の表彰が行われました

ちなみに玉川税務署長賞は中町小学校の粕谷美歩さん、玉川法人会長賞は尾山台小学校小野叶夢さん、世田谷都税事務所長賞は等々力小学校の山根まりあさんの3名が受賞されました。その後中学生による「税についての作文」優秀作品の表彰も行われ、6名の生徒

が表彰され、一部作品の朗読も行われました。こちらの受賞者は瀬田中学校の市田悠さん、用賀中学校の田中梨奈さん、学芸大学附属世田谷中学の北風詩さん、山崎琉璃さん、深沢中学の内野美希さん、砧南中学の榊田風沙さん、らの皆さんです。第1部の納税表彰式の終了後、午後5時より「玉川税務懇話会」主催の「納税表彰祝賀会」パーティーが行われ、高藤署長らを囲んでの記念撮影など、楽しく歓談が行われ7時過ぎに散会となりました。

(第9支部 広報委員 松山ひとし)

第3回絵はがきコンクール 入賞者表彰式

11月26日に玉川町会会館において『平成26年度絵はがきコンクール入賞者表彰式』が行われました。今年度は前年度をかなり上回った789作品の応募がありました。その作品の中から、玉川法人会会長・女性部会長、玉川税務署署長、都税事務所所長、専門家5名の選考により、金賞3名、銀賞4名、銅賞4名、優秀賞20名、入選20名が選ばれました。

表彰式では玉川法人会会長、玉川税務署長並びに副署長・幹部職員、都税事務所副所長がご臨席

になり、多数の保護者が見守る中、金賞3名、銀賞4名、銅賞4名、優秀賞20名に表彰状並びに副賞が授与され、記念撮影が滞り無く終了しました。

(女性部会 副部会長 岡村 くみ子)



金賞・銀賞・銅賞を受賞の皆さん



金賞 世田谷都税事務所所長賞
世田谷区立等々力小学校
山根 まりあさん



金賞 玉川税務署長賞
世田谷区立中町小学校
粕谷 美歩さん



金賞 玉川法人会会長賞
世田谷区立尾山台小学校
小野 叶夢さん



銅賞のみなさん



銀賞のみなさん



金賞のみなさん

記念講演会での会長・署長 挨拶

毎年恒例の税を考える週間での今年の記念講演会は、「私達の暮らしと法律く賢い消費者になろう」と題して、テレビ等でおなじみの弁護士菊地幸夫さんを講師に迎えて行われました。おかげさまで254名の方が参加され、盛会の講演会が開催されました。ここに阿部会長、高藤署長の挨拶の骨子を紹介します

阿部会長あいさつの骨子

ただいまご紹介いただきました公益社団法人玉川法人会会長の阿部でございます。本日は皆さん方大変お忙しい中、当会主催の講演会にご参加いただき誠にありがとうございます。この会は玉川税務署、世田谷都税事務所、世田谷区、



玉川法人会 阿部会長

玉川税務懇話会等の6団体の後援をいただき開催しました。また本日は大変お忙しい中、当会館をお貸しいただいております駒沢大学の廣瀬学長にもおいでいただきありがとうございます。

私たち公益社団法人玉川法人会は、良き経営者を目指す団体であると共に税を中心とした様々な事業活動を行っております。今回の講演会は税を考える週間の行事の一つとして実施されております。国税庁では例年11月11日から11月17日までの1週間を「税を考える週間」として日頃、税に馴染みの少ない主婦や学生、サラリーマンの皆様、この機会に改めて税について関心を高めていただくことを目的として全国各地で様々な催しが開催されております。ところで年金・医療などの社会保障福祉や道路水道などの社会資本整備、教育や警察、消防、防衛といった公的

サービスは私たちの暮らしに欠かせないものですが、その提供には費用がかかります。このような公的費用は税金でまかなわれております。

税金は皆で広く公平に分かち合うことが必要であり、まさに社会の会費であると言って良いと思います。税には社会経済の構造変化に対応した仕組みが必要です。日本は現在少子高齢化や経済のグローバル化が進み、様々な構造変化に直面しております。このようなか中、本日はテレビ雑誌等で活躍され、皆様にもおなじみの菊地幸夫先生に「私たちの暮らしと法律く賢い消費者になろう」と題して、ご講演いただくことになりました。菊地先生には大変貴重な時間をお割きいただき誠にありがとうございます。きつと皆様にとりまして有益な情報が入手できるのではと期待しております。

結びに本日ご参加いただいた皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

高藤署長あいさつの骨子

本日は税を考える週間の記念講演会にお招きいただきまして大変



玉川税務署 高藤署長

ありがとうございます。公益社団法人玉川法人会の皆様には日頃から税務行政全般にわたりご支援を賜り、また格別のご協力を賜っていることに対しまして、この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。ありがとうございます。

本日から税を考える週間ということで11月11日から17日までの1週間、全国各地において税金に関する様々なイベントを開催しております。私も今日の午後二子玉川の駅前で開催の消費税に関するアンケートを500通ほど回収して、その後税の標語の表彰式に出席して、講演会に来た次第です。

今年の税を考える週間のテーマは「税の役割と税務署の仕事」となっております。これは昨年に続

いてのことですが、基本的には税務署、国税局の仕事の紹介や、国税庁のやっている取り組みなどをご紹介するというところでございます。あと納税者の皆さまから税に関するご意見やご要望を伺う機会である、この週間をとらえているものでございます。国税庁のホームページには、特集コーナーを作っておりますので、こちらの動画、ウェブサイトを是非ご覧いただければと思っております。その中で例えば査察官とか国税徴収官の仕事などを紹介しておりますので、是非ご覧いただき、税務署はどんな仕事をしているのかな、ということを是非ご理解いただきたいと思っております。

さて本日は、弁護士の菊地幸夫先生より「私たちの暮らしと法律」というテーマで講演いただきました。私も基本的には税法という法律に則って仕事をしております。ただしベースは民法とか商法とかのまさに暮らしの中の法律にそつた上で、それを基本に税法でどのように判断するかといった仕事をしております。本日は非常に興味深く勉強させていただきたいと思っております。

最後になりますが、玉川法人会の益々のご繁栄と会員の皆様のご健康、ご事業のご発展をお祈りしまして私の挨拶とさせていただきます。

平成26年度 税を考える週間 菊地幸夫講演会

「私たちの暮らしと法律」 「賢い消費者になろう」を聞いて

日時／平成26年11月11日(火)
場所／駒澤大学深沢キャンパス
120周年記念アカデミーホール

国税庁では、毎年11月11日から11月17日までの一週間を「税を考える週間」として、納税意識高揚のための広報活動をおこなっている。

ます。そのため、この時期になると全国各地の法人会では様々な事業が実施されるわけですが、当玉川法人会においても「税を考える週間講演会」を開催して、会員ならびに地域の方から毎回ご好評をいただいています。

さて、今年の「税を考える週間



好評の菊地幸夫弁護士の講演

講演会」は、平成26年11月11日(火)に、駒澤大学深沢キャンパス120周年記念アカデミーホールにおいて開催されました。講師である菊地幸夫氏は、テレビ番組「行列のできる法律相談所」や「スッキリ！」などでも既にお馴染みである弁護士ということで、どんな話が聞けるのかと楽しみに出かけてまいりました。

冒頭の挨拶を、玉川法人会阿部会長、玉川税務署高藤署長、そして駒澤大学の廣瀬学長よりいただいたから、いよいよ講演会の始まりです。

司会者による紹介の後、バリツとしたスーツ姿で壇上に登場した菊地弁護士は、帽子をかぶって、いかにも弁護士らしい革の大きな

ピカピカの鞆を提げていました。そもそも、テレビを殆ど見るものが無く、周りから芸能人音痴と言われている私は、菊地弁護士がどのようなキャラクターなのか全く知りませんでしたので、パンフレットの写真から勝手にイメージを膨らませていました。

ところが、実際に拝見してみると、写真で見るとよりも頭がピカピカだということと、意外とお洒落な人だなということが驚きました。その風貌は、一般的に弁護士という固い職業から連想されるものではなく、どちらかというところ芸能人的なイメージに近い印象でした。

ステージの中央に立った菊地弁護士は、まず最初に帽子を取って、ご自身のヘアスタイル(?)を題材にした自虐ネタで会場を軽く沸かせると、早速上着を脱いでスピーチ台よりも前面の最も客席に近い場所から、熱心に身振り手振りも交えながら話し始めました。

冒頭は、駒澤の思い出より始めるご自身のプロフィールについて触れられ、次いで普段の生活ぶりや仕事ぶりについて、いかに平凡で淡々としたものであるかということが語られました。

テーマとなった「私たちの暮らしと法律」賢い消費者になろう」というタイトルから想像して、



賢い消費者になるための法律的な知恵であるとか、何かお得情報のようなものが聞けるだろうと思っ
ていましたが、話の内容は、そうした愚かな消費者に対するアドバ
イスなどではなく、もっと人間として根本的な部分にかかわる大切
な話だったような気がしています。

駒澤大学の廣瀬学長が以前に駅伝部の顧問をされていたというこ
とから、駅伝を例に取られて、「駅伝はどれだけ相手チームの選手よ
り多く練習を積んだかで、その差が結果に大きく現れる競技であ
り、楽をしていきなり状況が変わることなど決して起こり得ない。人
生もそれと同じで、だから地道に努力することが大切だ。」と話

されるその言葉からは、菊地弁護
士自身の生活に対する姿勢という
か、人生哲学のようなものが感じ
取れました。そして、それらはきつ
と菊地弁護士が弁護士という職業
を通して構築されたのであろうと
いうことも想像ができました。

「向上心が無いと言われるかも
知れないが、贅沢をしなくても、
人間は普通に食べてゆければそれ
で良いのではないか。」と菊地弁
護士は言います。なのに、世の中
に、大金をだまし取られたり、高
額なものを売りつけられてお金を
巻き上げられる人が後を絶たない
という現状があるのは、誰しもが
えている満たされない欲求に対し
て、楽をして解決しようとしたと
きに生じるちよっとした「心の隙
間」が原因であるとして、そうし
たトラブルに見舞われる人（つま
り依頼人）の共通点を、その時の
具体的な話を面白おかしく折り込
みながら説明されました。

内容としては、まずオレオレ詐
欺をしていたというある少年の例
を挙げて、一度犯罪に手を染めて
しまうと連鎖的に複数の犯罪に引
きずり込まれていつしか抜け出せ
なくなっているという犯罪組織の
恐ろしさと、その社会的背景。そ
して、犯人摘発の難しさと立件ま
で至らずに解決できない事件数が



熱心に聞き入る参加者

余りにも多いという現状。そうし
た現代社会の問題点を浮き彫りに
しながら、加害者と被害者が共通
して持っている人間の心の隙間と
いう部分にスポットを当てて、次
第にその原因について説明をして
いくというものでした。

ただ、それらの話の場面が様々
に移り変わるせいで、そうした菊
地弁護士の話し方のスタイルか
ら、何ら脈絡を得ることの出来な
かった人の中には、果たして菊地
弁護士が何度も繰り返し述べられ
ていた一本筋の通った大切な事柄
を理解されなかった人もいたかと
思うと非常に残念でなりません。

そこでもう一度触れておきます
と、菊地弁護士は話の中で「地道
にコツコツと身の丈に合った生活

を送り、決して贅沢をせず小さな
ことに喜びを見出せる生き方こそ
最も幸せなことである」というこ
とを何度も繰り返し話されてい
て、本日の公演は、すべてこのこ
とを理解してもらおうための話だっ
たように感じています。

日々淡々とした生活を送り、夫
婦で晩酌に350mlの缶ビールを
1本ずつ飲むことに幸せを感じ
ているという菊地弁護士の話から
は、弁護士という職業の世間一般
的に思われている華やかな生活ぶ
りとは対照的な印象さえ受けまし
たが、むしろそうした人こそ揺る
がない、人からだまされることの
無い、つまり菊地弁護士の言わん
とする「賢い消費者」そのもので
はないかということが理解できま
した。（広報委員 船本 貴一）



山本女性部会長より感謝の花束贈呈



特集 我が社の省エネ、我が家の省エネ

東日本大震災以降、しばらくは省エネ、節電に皆、関心がありましたが、年月が経つほど風化が進んでいるように思えます。もう一度身のまわりを見渡し、考えるきっかけをと思い特集しました。

わが社の省エネ

会長 阿部 友太郎

当社(株式会社アベコー)は首都圏に7つの営業所拠点を構え、建築資材の卸売りを生業としております。

当社は2012年6月にISO14001を取得しました。以来、節電、自動車のガソリン使用量の削減、などをテーマとして環境負荷低減活動に取り組んでおります。

節電活動としては、室内照明器具の削減(照度の適正化)、不要照明のこまめな消灯、クーラー使用時の室内温度の設定の見直し(過冷却、過保温の防止)等を実施し、2013年夏の電力不足対応にも貢献しました。また、急加速・急発進の厳禁、アイドリング削減などのエコ運転の推進により、ガソリン使用量の削減を推進しております。

ISOの取組みと併せて、2012年度(2013年報告)より、東京都の地球温暖化対策報告書制度に参画し、都内のエネルギー使用量削減にも貢献してきております。

我家の省エネ

副会長 坂東 義治

現代では、快適な生活に慣れてしまふとなかなか以前の生活に戻れませんが、思い切つて試してみると工夫次第では、「省エネ」と

「経費節減」に貢献することが出来ます。基本的には、『家庭内のエネルギー環境を十分満足された状態にしない』ことですが、具体的に・・・家庭の契約電力は、基本的に家庭内で使用される電化製品の消費電力に合わせて設定されていますが、敢えて『契約電力を基本的な計算値より下げて契約します。』そうすると家庭の全ての部屋において同時にエアコン等の家電品を使用すると当然のことながら必ずブレーカーが落ちてしまいます。最初は、大騒ぎをしますが、無駄な電化製品の使用がないか一つずつ良く調べ、使用方法を工夫するとブレーカーも落ちなくなり、低めの契約電力でも十分に快適な生活をする事が出来るようになります。

結構惰性で使用している無駄な電力消費が削減できると共に、家族同士のコミュニケーションが高まり、結果的に毎月の電気料金が下がり、家計の負担の軽減に貢献

することが出来ます。利便性と引き換えに惰性で支出しているエネルギー関係費については、この際、見直ししては、如何でしょうか？

私と省エネ

副会長 宮崎 巖

まず、省エネの話をする前提として、いろいろな製品(家電・車・住宅等)を「使用する」時が省エネでも、それらを「作る」・「破棄する」の段階での環境負荷を考慮し、トータルでの消費を把握する事が大切である、と私は常々思っている。

よって、「省エネ」と言う言葉に踊らされて、むやみやたらにまだ使える品物を新しく買い替えるのは如何なものか?と思う。

私は耐用年数に近づいたり、経過したものから、徐々に省エネの製品に交換するように心がけている。

まず、昨年当社のビルの1階2階に入っているテナントが入れ替わった際には、照明器具をLEDやHFTタイプ蛍光灯を積極的に取り入れ、また、エアコンも20年以上経過しているので、省エネの新しいものに交換した。エレベーターもリニューアル時

私の省エネ

副会長 大塚 繁夫

期が来たので、耐震性向上と、モーター部分や制御関係を新たにしましたが、扉や籠部分等は既存のままとし、廃棄物を最小限にする努力をした。

外階段の照明は夜になると自動的に点灯するシステムで有ったが、スイッチを設け、不要な時は消灯する事とした。

また、エントランスホールの照明器具は本体を交換する事無く、球が切れた時にはLEDに交換し、現在では90%位がLEDになっている。

「もったいない」を基本理念に、給湯器、給水ポンプ、既存の照明器具、空調機等、まだまだ省エネする箇所は沢山あるが、これからも耐用年数を見ながら順番に新しいものに交換する予定である。

以上の事から、まだ完全な省エネ対策の建物にはなっていないが、それでも電気の使用量が以前に比べて30%近く節電となっている。それにしても、最近の製品は昔のものに比べて作りが貧弱である。耐久性が劣っているようだ。

昔の職人気質の「ものづくり」の心は何処へ行ってしまったのだろうか？

省エネ、地球環境に少しでも負担をかけない生活は常に心がけています。

今年も寒い冬になりましたが、室内では厚着をして室温は20度以下です。事務所でも来客がなければエアコンは止めて、脇に電気ストーブを置いて過ごしています。もともと、体質的に暑さは苦手ですが寒さには強いせいもあります。が・・・。

それから、車はなるべく使わないようにしています。会社(自宅)から玉川税務署までは約2キロですが、大きな荷物がない限り歩いて行きます。

世田谷区役所や、世田谷登記所へ行く時は自転車を利用します。

でも、昨年1月に脊柱管狭窄症を発症して、暫くは歩くことができませんでした。1ヶ月ほどで症状はやわらいだものの、その後何回かぶり返し、いずれ慢性になると医者には言われています。それまでの間は、元気に歩ける事に感謝しながら、少しでも地球環境に配慮した生活をしたいと思っています。

「♪エコライフ エゴライフ♪」by Parody Gang (郷ひろみ debut single「男の子の子」parody)

副会長 大鎌 博

僕たちエコライフ 君たちエゴライフ
ハイハイハイ! ハイハイハイ! おいで守ろう
僕らの地球を 大事にしよう
無駄を探すのは 任せてほしいのさ
ハイハイハイ! ハイハイハイ! 緑あふれる
みんなの地球を 愛でつなごう
アアア 毎日が
アアア 大変さ
明るい未来へと 省エネふりかざし
GO GO GO GO
ほほえむエコライフ みつめるエゴライフ
ハイハイハイ! ハイハイハイ! 涙なみだの
努力と忍耐が 地球を救う(二十四時間!)

必死のエコライフ 快適エゴライフ
ハイハイハイ! ハイハイハイ! 絶体絶命
みんなの地球の お後がないよ
アアア 一年中
アアア やり抜くぞ
成果をあげるんだ みんなで手を取り
GO GO GO GO
エコとエゴライフ 意見が分かれても
ハイハイハイ! ハイハイハイ! 結果をいそごう
僕らの地球は はだしが似合う(三百六十五日! ハイ!)

(So sorry. 敬愛する岩谷時子様。歴史的な傑作を economy にしてしまいました)

我が家・我が社の省エネ

副会長 森 栄

私が現在住んでいるマンションは、昨年築13年を迎え大規模な修繕工事を行いました。それを機に電化製品の古いものを新しいものに買い換えることにしました。テレビ等の広告で省エネ製品を謳ったものが沢山あります。しかし我が家を見てみるとエアコン・冷蔵庫

庫は13年前からあるものですし、テレビも液晶テレビが大型化され始めたころの相当古いものを使用しておりました。

これらを最新の省エネ製品に買い換え、前年同月の電気料金を比較したところ、500円×1.500円程度安くなっていました。その効果はあったようです。しかし広告や買った時の店員の話を出すと、正直もつと安くなるのは?と期待していた分少し残念に

思いました。

一昨年11月に車をクラウンハイブリッドに買い換えたのですが、以前の車と比べて燃料使用量が半分になるというはつきりとした効果がありました。リッター6.5〜7.0km程だったのが、現在ではほぼ同じ使用状況で13〜14km走ります。車のパワーも前よりある感じがしますし、何よりも静かなことが素晴らしいです。

我が社でも本社ビルでは蛍光灯を2本のうち1本を間引いたり、トイレや給湯室等使用しない時はこまめに消灯することを徹底しています。

また作業員寮でも本社ビル同様、蛍光灯を半分の間引きました。寮には常時50〜60名いますが中にはだらしのない人もいます。そのため寮長がエアコンの消し忘れがないか昼と夜の2回確認をするようにして電気使用量の削減に取り組んでいます。

10台ある洗濯機も以前は2槽式のものを使用しており、いくら注意しても水を止め忘れる人がいて水道代がかさんでおりましたので全自動に換えました。製品は高額ですが、水道代で元を取れそうです。

現場に往復する際に使用している車は、人数の少ない現場でも全

て9人乗りのマイクローバスでしたが、リース料及び燃料費を削減する為に半数をライトバンに切り換えました。

まだまだ真剣に向き合えばいくらでも省エネできるところがあると思います。やればやるほど我が家・我が社の利益にも繋がりますし、限りあるエネルギーの使用量を削減を通じた環境保護もできますので今後もより一層努力していきたいと思えます。

我が社の省エネ

研修委員長 松浦 政幸

私共の生業は建設業であり、建設業の分野でも最近では各現場において省エネが叫ばれている。省エネ対策というと建設会社であつても「事務所の節電」という企業が多くあるようだ。ゼネコンや工務店など管理する立場の企業であればそれでも良いだろうが、ゼネコンや工務店の下には必ず協力業者の存在がある。これらが各現場に乗り入れる車両のアイドリングを軽減させれば、どのくらいの省エネ効果があるのだろうかといつも思う。勿論、現場管理者側からはアイドリングストップはよく注意喚起される。現場内では守られる

が現場の外では管理の目は行き届かないのが実情だ。我社も現場への移動手段は車であり、重機を使用しているの工事を行う。どうすれば無駄なアイドリングなどを省けるかといえ、企業の管理者が各使用車両の燃費を把握し、ドライバーに伝える事が手取り早い手段と考える。やる気さえあれば燃費を向上させるテクニクはいくらでもあり、まずは身近な対策として行ってみてはどうだろうか。

我が家の省エネ対策

第1支部長 井上 俊治

私の家の省エネ対策は、ごく一般的な太陽光発電システムの採用です。6年前(2009年2月)省エネ会社の営業トークにまんまと乗ってしまった、と言うか当時は国と東京都からかなり多額の補助金が出ることもあり、導入することにしました。どうせやるなら大々的にと思い、153Wのパネルを36枚、発電量5・50KWと当時の一般家庭では最大規模の施行を行いました。おかげさまで、現在東京電力への収支では、月々8000円程(冬の11月)のプラスになっております。

また付帯工事として、エコキュ

トの導入も同時に行った結果、風呂の給湯は東京ガスに頼るのではなく、夜間の安い電力の利用で、かなりの節約につながっております。

当初の投資を回収するには、まだ多くの年月(私の余命では無理)がかかりますが、少しでもCO2の排出及び原子力発電の抑制に役立っているのではと、自己満足しております。

わが社の提案

第4支部長 鍋島 増男

我故郷の飛騨高山では年末の大雪で倒木が電線を切り、3日間ほど停電しました。初めての災害で不自由な生活を余儀なくされ、いかに電気が有難いか体験したと言っていました。超省エネ実践ですがとても耐えられませし二度とごめんです。省エネのために我慢や節約をするのにも限度があります。無理をせず日常生活で省エネができればそれに越した事はありません。

当社はガラスのリサイクル工場もあり、軽量骨材を生産しています。その製品を利用して雨水貯留槽「アクアアームズ」という特許工法も販売しています。建物の余地(形状に拘らず)に貯留槽を造

成して雨水を溜め、散水・洗車・トイレ洗浄水として利用できます。貯留した水が腐敗することなく安定した状態で使用できるシステムです。節水と省エネが無理なく半永久的に利用できとても好評です。どうぞご検討ください。

エコ社会はものを大切に

第5支部長 清水 明洋

消費社会。便利の裏には、使い捨て等、浪費がある。実際私もそれにあやかっている者の一人だ。「物を大事にしないと罰があった。昔はよく耳にしたが、最近あまり聞かなくなった。「物」を人、エネルギー、食品などの言葉に置き換えてみる。「罰」は個人的な損得ではなく、日本の未来とでも言ったところか。みなさんどうだろう？結構耳がいたい。私は着物の販売をしている。着物は母から子、子から孫へと受け継がれるものも少なくない。江戸時代、日常品だった着物は、最期は分解されて雑巾になって捨てられていた。その昔、日本は世界最先端の、エコ、リサイクル社会、文化をもっていたのだ。高度成長期、当たり前になってしまった浪費社会。「モノ」から「心」へ、ニッポンの

心を見直す事、エコ社会の第一歩ではないだろうか。

我が社の省エネ対策

第11支部長 丸山 正高

省エネと言われて当たり前のように言葉だけが独り歩きしていることを感じます。建築工事を営む丸山工務店でも実際の数字を出すのは費用対効果があり簡単ではないんです。一昨年は取り組んだのがエアコンの最新化、そして事務所の照明をLEDライトに交換、この時点で電気代は半減しました。しかし0ではないのです。昨年はガラスを二重に交換しました。高い真空ガラスに交換し、中央部分は部屋の温度が15℃近くあるのに、外部の外側で朝方結露を起こしているんです。硝子のフレームの部分の近くはフレームから部屋の温度が伝わって温かくなり、結露が発生していいない様子がうかがえます。窓の外側をこすると〇い絵が書けました。これは断熱効果が出ている証明になります。さらに省エネは人感センサーによる照明の点灯を考慮しております。古い冷蔵庫の買い替えも大事なんです。200年前は家の中で薪をくべて熱源を確保していましたが、現在で

は、室内環境を工夫し、快適な生活を実現することへの取り組みが生活の原点であると感じます。伝統的技術に固執せず幅広い知識を身に付けることによって新しい未来が築かれることを実現したいものです。目指せ0エネ住宅です。



環境問題のウソ

第1支部 広報委員 船本 貴一

私は省エネはしません。むしろエネルギーはじゃんじゃん使う方です。ですから、省エネに関する記事については書くネタがありません。ほとんどのの方が「省エネなんて書くことが無い」と言われると思います。私もまったく同感です。そもそも省エネ自体、する必要がなくなることなのでしょうか。「みんな騙されているのになあ」と

というのが私の正直な意見です。でもそういった考えを他人に強制することは良くないことなので、省エネと言って努力している人を見ても決して止めるようには言いません。

世間では、人間の排出するCO2のせいで気温が上昇して、地球が温暖化して大変なことになると言う人がいますが、理由を聞くと「北極の水が解けて海面の水位が上昇したために、ツバルという国が沈みつつある」と言います。しかし、それは全くの間違えです。

フナフチ環礁の主だった9つの島からなるツバルという国において、温暖化で沈んでいると言われている現象は、それら全ての島で起きているものではなく、一番大きなファンガファレ島の最も海抜の浅い場所にある首都フナフチだけで起きていることなのです。しかもその原因は、自然災害などではなく、都市化による人災であることが判明しているのです。(詳しくお知りになりたい方はインターネット等でお調べください。)にもかかわらず、なぜそのようなことを信じてしまうのでしょうか。北極の水にしても、氷が解けたからと言って海面の水位が上昇しないことくらい、ちょっと冷静になつて考えてみれば分かることで

す。中学生の時に、水は氷るときに体積が膨張することは科学で習ったはずです。北極海の氷は、海の水が氷るときに膨張して上に盛り上がった部分なんです。だから、それが解けたとしても海水の量が変わることはないのです。

人間は、自分の目で見たものや、人から聞いたことをそのまま信じて鵜呑みにするか、あるいはそこに自分の考えや知識なりを導入して真実を理解するか、その二つに分かれると思います。マスメディアを通して流れてくる情報は、あらゆる意味で事実が捻じ曲げられていたり、都合の悪いことはもみ消されて伝えられないことが非常に多いというのに、テレビや雑誌の言っていることをそのまま信じて普段から自分の頭で考える習慣を無くしてしまうと、こういった中学生レベルのことでさえ、平気で見過ごしてしまうのかも知れません。

もともと北極の氷は夏になると、冬の時期の半分以上は溶けて無くなってしまいうので、冬になると再び凍って元に戻るというように、毎年それを繰り返しているのです。これは自然の摂理であって、誰でもが知っている事実です。にもかかわらず、夏の状態だけを見せられて、これは温暖化のせいだと言

われると、事実とは全く逆のことであっても、ほとんどの人がそれを信じてしまっているのが現状のようです。

大勢の考えに従って疑問を抱かず、楽な方へと流されていくうちに、知らず知らずのうちに自分の頭で考えるということを忘れてしまっているのではないのでしょうか。レジ袋を廃止しようと言う反面、一回の海外旅行でレジ袋300年分のCO2を排出してみたり、ほとんど再利用されることのないペットボトルをリサイクルといって回収してみたりといった、矛盾した行動に何も疑問も感じていない姿を多く見かけます。そういった意味では、きつと現代人は最も操りやすい人々なのかも知れません。

我が家の省エネ

第2支部副支部長 出澤 素賀子

我が家は、東日本大震災の前年2010年12月に竣工いたしました。残念なことに家の設計段階では、東京電力に絶大な信頼をおいていた事と高齢化に伴う安全面からお風呂以外はオール電化の家を建ててしまいました。

そんなわけで新たな家の省エネは、難しいのが現状です。それで

も家を建てるときに省エネについて考えていましたので、電化製品は全て最新鋭の省エネタイプのもの、電球はできる限りLEDにしました。省エネに少しは役立っていると思います。

ハード面ではなかなか難しいので、ソフト面での貢献ですが、食事はなるべく中食と外食を利用して調理をしないと、一日1回は必ず外出をして電力の消費を抑えるなどささやかな試みを行っています。

今年から、「大規模HEMS情報基盤整備事業」へのモニター参加をすることにいたしました。住まいの電力を見える化して、節電生活のさらなる充実を目指したいと思えます。

ある企業の取り組み

第9支部 広報委員 松山 ひとし

我が家で、考えられる省エネ対策といえば、照明のLEDへの切り替えと乾電池を充電式のものに変えることくらいでしょうか。普通の電池はリモコンなどあまり頻繁に取り替えないものに、しょっちゅう変えなくてはいけないものには充電式乾電池を使っています。

ところで、地方や地域の活性化

を紹介している「かがり火」という雑誌の中で、千葉大里にある大里総合管理という不動産さんが、様々なアイデアを出して、消費電力を年間で大幅に削減した話が載っていました。東日本の震災をきっかけに、脱原発や温室効果ガス削減のため全社を挙げて取り組みとういうことになったそうです。毎週火曜日には会議を開いて皆アイデアを持ち寄りしました。ご参考までにいくつかその内容をみてみますと、蛍光灯の数を3分の2に減らし、夜は消灯、従って残業ゼロ。エアコンの使用はなるべく控えるということからはじめ、電気ポットを魔法瓶にする。コードレス電話機を減らす。奥の事務所は基本的に消灯。退社時にブレーカーを落とす。会議は朝早くからはじめその分退社を早くする。蛍光灯をLEDに変える。夏は部屋を冷やさず人を冷やすことで風通しと日陰を最大限に利用。またクールビズコンテストと称し、地域のほかの企業にも呼びかけ、他社と省エネの取り組みを情報交換したりするという徹底ぶり。冬は寒々しいので照明をつけ、1時間おきに体を温める体操をする。等々まだまだたくさんありますが、これらの努力の結果で消費電力の35%を年間で節電できたそうです。

これは原発とLNGによる発電分に相当するそうです。やればできるのですね。

結論としてはやはりLEDが一番効果があったことと電気を使い放題だったことを実感したとの感想でした。この会社への見学のお誘いもありましたが、残念ながら参加できませんでした。しかしこの会社もこれで終わりではなく、さらに自然エネルギーを加えて節電に挑戦していくそうです。従業員のリストラより、従業員に知恵を出してもらって経費の節減をする姿勢には学ばせてもらうものがあります。ちなみにこの会社は2つのNPO法人と215の社会貢

献プログラムを持つなど、おそらくもともと日本で進んでいる地域密着型企業であると紹介されていました。

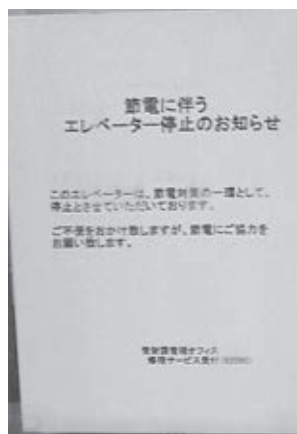
我が社、我が家の節電

第8支部 広報委員 秋元 信吾

2011年(平成23年)3月11日(金曜日)の東関東大震災以降、何事にも「節電」という言葉と行動が生活の一部になった様に思います。あの日、私の自宅マンションは、地震の激しい揺れが始まって間もなく、停電と同時に断水となり、翌日の夕方までその状況が



第6支部 広報委員 江口響子



続き、日々当たり前に享受している公共インフラのありがたさを痛感させられた経験となりました。あの年以降、夏は、我が家を含め、ご近所のご家庭もエアコン(冷房)を控えた生活が当たり前となりました。実際我が家では、庭側と道路側の窓を全て開ける様にすると、一日中風が吹き抜け、終日快適に過ごせることが分かり、日中エアコンをつけることは、夏期の間は、数日程度となりました。ただし、このことには、私の自宅マンションがある川崎市宮前区が丘陵地であり、年間を通して常時風速2m程度の微風が吹いていること、豪雨対策として、幅0.5mから3m程度の雨水路が住宅地全体に張り巡らされていること、丘陵地であるが故、ほとんどの住宅地がひな壇であることで、建物と建物の間に余裕があることが影響している様に思います。

一方、以前勤務していた国立がん研究センター研究所、現在、私



が非常勤研究員を勤めさせて頂いている国立成育医療研究センター研究所と慶応義塾大学医学部では、東関東大震災とは関係なく、以前より、患者様がいらつしやらないエリア、すなわち関係者だけがいる研究所、医局や実験室のある研究棟等の建物では、廊下、エレベーター等の共有部分ではエアコン(暖房、冷房)は一切、入っていません。それこそ、自主的なクールビズ、ウォームビズは、30年以上のベテランです。また、廊下、トイレ等の照明も全て人感センサー付きです。

東関東大震災以降はこれらに加え、2台あるエレベーターの内1台は、停止され、極力階段を利用することとなっています。国立成育医療研究センター研究所の私の実験室のあるのは6階、慶応義塾大学医学部の私の実験室のあるのは4階です。何れも下りは常に階段を利用しているのですが、上りは、つついエレベーターを使ってしまう。運動不足解消のため

めにも、もうひと頑張り、上りも全て階段をと思っているのですが、これがなかなかどうして、難しいです……。



我が家、我が社の省エネ対策

第12支部 広報委員 末次 顕子

この問題は地球温暖化対策の一貫になると思いますが我が家、我が社の大小に拘らず未来の子供達に良い環境を残す為にも、一家庭の省エネが強いては個々の意識を高め、照明もLEDに替えるのを始め、電化製品も徐々に替えていくべきと考えますが、永年使用していると愛着が出て、使用出来なくなる迄使用してしまいますが、良く考えますと電化製品は年々進化し省エネにもなっているのだから、努力しなくとも自然と省エネになります。但し電力も原子力以外は、水力発電か火力発電に依存することなので、やはりそれにも

燃料を使用することになりますがいかに省エネになるか、早急に私も良い図式を知りたいものです。

『玉川法人会事務局の省エネ作戦』

公益社団法人玉川法人会事務局

会員の皆さまには、今年度の社会貢献委員会事業である「地球温暖化対策報告書制度」の提出において多大なるご協力をいただきました。お陰様をもちまして、会員様から117件の報告書の提出をいただきました。単体会目標数の100件を大きく超え、東法連から奨励金を獲得することもできました。ありがとうございます。事務局においてもこの制度の趣旨に則り節電等に努め、前年度より使用電力8940KW/hの低減化ができました。ほんのチョットした努力の積み重ねですが、空室不在時・昼休み時のこまめな消灯、冷暖房温度を都の推奨値へ設定等で全員が気をつけた結果だと思えます。電力消費量が少なく両面印刷ができる印刷機への切り替えも、大きく貢献してくれています。これからも省エネはもとより、事務局全員が「ムダ遣いをしない事務局」を合言葉に日々の業務に精励してまいります。

同好会のお問い合わせ先

参加してみませんか

◎ご希望の方は、下記の代表幹事にお問い合わせ下さい。

- | | | | |
|-----------|-------|-------------------|---------------|
| ・ワイン研究同好会 | 大原 紘子 | (有)オオハラ | TEL 3718-0977 |
| ・釣り同好会 | 中山 豪夫 | (株)アイ・エス・ディ | TEL 3702-5938 |
| ・ゴルフ同好会 | 鈴木準之助 | (株)鈴浅 | TEL 3709-1965 |
| ・カラオケ同好会 | 猿渡 順一 | (有)猿渡設備工業所 | TEL 3700-2342 |
| ・ボウリング同好会 | 上平 亮 | ジーコン・インターナショナル(有) | TEL 3415-8012 |

